

平成 20 年度歯学部 FD 活動報告書

2009. 4. 01

歯学部 FD 委員会

目次

はじめに	2
第1節 授業評価	3
1.1 学生による授業評価	3
1.2 教員による相互評価	24
第2節 歯学部FD講演・研修会	30
2.1 鹿児島大学病院歯科医師臨床研修	30
2.2 CBT 問題作成FD研修会	32
2.3 辻本恭久先生講演	34
2.4 窪木拓男先生講演	36
第3節 卒業時アンケート	39
3.1 卒業時アンケートの実施方法と結果	39
3.2 卒業生アンケート集計結果	40
第4節 今後の展望	42
第5節 平成20年度FD活動経費決算報告書	43

はじめに

歯学部では昨年度から学生による授業評価票を改善し、OCRによる機械処理をより効率化し、事務処理の効率化を図っている。本年度もアンケートの回収とOCR処理は学務係（歯学）とともに行った。本年度もまた、卒業時アンケートに加えて、既卒者を対象とした全学的なアンケートの一部として、歯学部教育に関する満足度や意見を聴取するためのアンケートを実施した。更に、全学的な授業公開・授業参観の活動を歯学部でも実施月間について要項を定め実施したが、未だ、その実施体制については試行段階であり、その実効性とも併せて今後の課題である。

高等教育の質の保証については、欧州のボローニャプロセスに始まり、OECDによる Learning Outcome（学習成果）の試験（AHELO、2011年）の導入へと続き、わが国の中央教育審議会大学分科会制度・教育部会においても論議されている（「学士課程教育の構築に向けて」（審議のまとめ）、平成20年3月25日）。高等教育の質の保証と継続的向上をはかるには、Faculty Development（FD）による教育の改善がかかせない。FDには、大きく分けて、個人を重視した教職員の能力開発活動（狭義のFD）、学習者や学習を重視したカリキュラムデザインや評価・実施の改善活動（ID：Institutional Development）、機関などの組織構造の改善活動（OD：Organizational Development）がある。歯学部では、狭義のFDに対し、広義のFDを実施するように努め、今後の授業や教育の改善に結びつく具体的な方略を探る事を目的としたFD研修会、講演会等を開催した（鹿児島大学病院歯科医師臨床研修、CBT問題作成FD研修会（第1回-CBT作問のコツ-、第2回-CBT問題のブラッシュアップ-、第3回-ブラッシュアップへの参加-）、「-歯内療法教育と臨床への顕微鏡導入-」、「岡山大学の医療系大学院 高度臨床専門医養成コースの試み -魅力ある大学院を創生するために-」）。いずれも、歯学部教員にとっては満足のいく結果となった。

第1節 授業評価

1.1 学生による授業評価

■ 歯学部における学生による授業評価の概要

(1) 体制：歯学部 FD 委員会が年間の FD 活動計画の一環として行っている。

(2) 評価を受ける（実施する）時期：授業評価は各科目の授業終了時に適宜行っているが、本年度も複数回の実施も試みた。集計時期は前期終了時の 10 月頃と、後期終了時の 2 月頃で、年度末に全ての集計結果を取りまとめる。

(3) 方法：歯学部で作成した「授業に対する学生評価表」を用い、15 項目に亘って 5 段階評価をし、かつ、改善点や長所、短所についての自由記載をする。対象者は、その授業科目の担当教員であり、教授、助教授、講師である。無記名の評価表は学生クラス委員が集め、学務係へ提出し、OCR 集計処理後、さらに FD 委員会委員によって、内容の点検を行った後、当該教員へ戻される。教員は所見、感想などを記載し、より良い授業に向けての改善策を記入し、FD 委員へ提出後、報告書として取りまとめる。

(4) 結果の公開：教員の各項目の評価集計結果と所見、感想などのまとめを教育センターの報告書に掲載するとともに、学部内向けに詳細なデータを掲載した報告書を作成し、学生、教職員に配布するとともに、学務係に常備し、また、ネットワーク上でも掲載し、学部内に公開する。

(5) 評価結果をどのようにして反映させているか：各教員が評価結果について真摯に受けとめた上で、所見、感想などを明記し、さらに、これらをより良い授業のための改善策として公表することによって、授業に対する教員の自覚と自己効力感の醸成に役立てている。各教員のまとめは匿名にして Web にも掲載し、公開した。

■ 学生による授業評価のまとめ

各教員による自己評価と改善に関するまとめには、評点からクラス全体の傾向と個々のコメントから具体的な問題点を読み取った結果が記載され、この授業評価が一方向的なものではなく、双方向的な教員の授業改善の手法として機能していることが伺える。各教員による改善に関するコメントには、他の教員も参考になる具体的な改善方法が示されていることから、全文を歯学部教員に公開している。さらに、複数回の評価を実施し、改善法略の効果について検証している教員も増えている。

一方、学生のコメント数が少なく、全員の意見の反映には及ばないことも、継続して見られ、今後、さらに方法や内容を検討する必要がある。また、今回も予習復習の自己評価が低く、課外学習の在り方について対策を講じる必要がある。今後、e-learning システムの充実を図り、より簡便で、双方向的な授業の組み立てが出来る様に教員を支援すべきであろう。

学生による授業評価票

歯学部 FD 委員会

2	0	0	年	月	日	科目名：	対象教員名：
---	---	---	---	---	---	------	--------

※ 機械読み取りをしますので、○を丁寧に濃く塗り潰して下さい。紙を折らないで下さい。

※ 記入後、クラス委員が集め、歯学教務係に提出して下さい。

■ 記入学生に関する事項

記入者の学年	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
この授業の予習・復習を行ったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐	
	(常に十分に 行った)	(良く 行った)	(普通に 行った)	(たまに 行った)	(全く しなかった)	

■ 対象教員の授業に関する事項

項 目	5: 極めて 優れている	4: 良い	3: 普通	2: やや劣る	1: よくない
シラバスに沿った授業がなされたか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
授業の準備がよくなされていたか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、 板書等)は適切であったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
実習器具・材料は適切であったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
実習は授業内容の理解に役立ったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
質問や学生による発表の機会を与えられたか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
質問をしやすい雰囲気であったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
学生にとって適切な難易度であったか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
学習意欲が刺激されたか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
教育に対する熱意が感じられたか	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐
総 合 的 な 評 価	5 ☐	4 ☐	3 ☐	2 ☐	1 ☐

本教員に 改善して もらいた い点を含 め、授業 の長所・短 所につい て記載し て下さい。	-----

学生による授業評価集計結果 【 学生による授業評価実施数 33 】

1 年生

■記入学生に関する事項

記入者の学年	1
この授業の予習・復習を行ったか	2.8

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.8
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.6
授業の準備がよくなされているか	3.8
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.9
実習器具・材料は適切であったか	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.7
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.6
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.8
教育に対する熱意が感じられたか	4.4
総合的な評価	3.9

2 年生

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
この授業の予習・復習を行ったか	2.5	2.8	2.4	3.4	3.2	3.3	3.3	2.5	2.3	2.9

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.6	4.0	3.6	4.0	3.9	4.1	3.9	4.3	4.0	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.7	4.1	3.5	4.3	4.1	4.2	4.0	4.4	4.0	3.9
授業の準備がよくなされているか	3.9	4.3	3.7	4.2	4.1	4.4	4.0	4.9	4.4	3.9
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.7	4.0	3.4	4.2	4.0	4.2	3.9	4.2	4.1	3.6
実習器具・材料は適切であったか	4.0	4.2	3.4	4.2	4.2	4.3	4.1	6.2	4.2	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8	4.3	3.3	4.5	4.6	4.5	4.3	6.1	4.4	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8	3.7	3.3	4.4	4.1	3.9	3.8	4.2	4.4	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.6	3.5	3.1	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.4	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	3.4	3.9	3.3	4.3	3.9	4.2	4.3	4.3	4.4	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.3	3.5	3.4	4.1	3.8	4.0	4.0	4.2	3.8	3.8
学習意欲が刺激されたか	3.6	3.5	3.3	4.1	4.1	4.1	3.8	4.4	3.8	3.6
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2	4.4	3.5	4.3	4.3	4.6	3.8	4.6	4.4	4.0
教育に対する熱意が感じられたか	4.1	4.2	3.5	4.4	4.3	4.3	4.0	4.3	4.4	3.9
総合的な評価	3.9	3.9	3.4	4.3	4.1	4.4	4.0	3.6	4.3	3.8

3 年生

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3	3	3	3	3	3
この授業の予習・復習を行ったか	2.4	2.6	2.5	1.9	2.3	2.8

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.5	3.6	3.5	3.3	3.9	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.5	3.8	3.9	3.1	4.0	3.3
授業の準備がよくなされているか	4.0	4.0	4.1	3.4	4.1	3.6
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.8	3.7	4.1	3.4	4.0	3.7
実習器具・材料は適切であったか	3.6	3.7	3.7	3.4	3.8	4.0
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.7	3.9	4.3	3.4	4.0	3.7
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8	3.7	4.3	3.3	3.9	2.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.7	4.0	4.0	3.9	3.6	2.9
質問をしやすい雰囲気であったか	3.3	3.3	3.8	3.7	3.7	3.0
学生にとって適切な難易度であったか	3.5	3.2	4.2	3.2	3.7	3.6
学習意欲が刺激されたか	3.5	3.3	4.4	3.3	3.7	3.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1	3.9	4.4	3.6	4.1	3.9
教育に対する熱意が感じられたか	3.9	3.8	4.5	3.4	4.0	3.7
総合的な評価	3.8	3.8	4.3	3.5	4.0	3.7

4 年生

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4	4	4	4	4	4	4	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.9	3.1	2.3	3.4	2.4	2.7	2.5	3.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.2	3.9	3.7	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0	3.9	4.0	4.2	4.0	3.9	4.1	4.5
授業の準備がよくなされているか	4.1	4.0	3.8	4.1	4.3	4.1	4.2	4.3
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.9	3.6	3.7	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2
実習器具・材料は適切であったか	3.7	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0	3.7	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9	3.9	3.7	4.0	4.1	4.0	3.8	4.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2	3.4	3.5	4.0	4.0	4.4	4.3	3.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3	4.0	3.5	4.0	3.7	4.3	4.2	3.9
質問をしやすい雰囲気であったか	3.4	3.1	3.2	4.0	4.0	4.3	4.1	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	3.3	3.3	3.7	4.0	4.1	4.2	3.9	3.9
学習意欲が刺激されたか	3.3	3.4	3.4	3.9	3.9	4.2	3.8	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1	4.1	3.8	4.1	4.2	4.3	4.3	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.4	4.2	4.2
総合的な評価	3.7	3.7	3.8	4.1	4.2	4.3	4.2	4.1

5 年生

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5	5	5	5	5	5	5	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.5	2.4	2.5	2.6	2.3	2.3	2.6	2.7

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.8	3.9	4.2	4.1	3.8	4.1	3.7	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4	3.8	4.2	4	3.9	4.1	3.9	3.6
授業の準備がよくなされているか	4.1	4	4.4	4.1	3.8	4.3	3.8	3.6
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4	4	4.4	4.1	3.4	4.3	3.5	3.6
実習器具・材料は適切であったか	3.9	3.7	4.3			4.2	3.7	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	4	4	4.5			4.4	3.9	3.7
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2	4.1	4.5	4.0	3.8	4.1	3.8	3.1
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.1	4.1	4.3	3.8	3.3	4.4	4	3.6
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8	3.9	4	3.8	3.7	4.5	3.9	3.6
学生にとって適切な難易度であったか	4.1	4.1	4.3	4	3.8	4.4	3.7	3.7
学習意欲が刺激されたか	4.2	4.1	4.3	4.1	3.7	4.3	3.5	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4	4.1	4.6	4.6	3.9	4.4	3.5	3.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.3	4	4.5	4.5	3.8	4.3	4.1	3.6
総合的な評価	4.2	4	4.4	4.2	3.7	4.3	3.8	3.4

学年平均

■記入学生に関する事項

記入者の学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	全平均
この授業の予習・復習を行ったか	2.8	2.9±0.4	2.4±0.3	2.8±0.4	2.5±0.1	2.7±0.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.8	3.9±0.2	3.6±0.2	4.0±0.2	3.9±0.2	3.9±0.3
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.6	4.0±0.3	3.6±0.4	4.1±0.2	3.9±0.2	3.9±0.3
授業の準備がよくなされているか	3.8	4.2±0.3	3.9±0.3	4.1±0.2	4.0±0.3	4.1±0.3
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.9	3.9±0.3	3.8±0.2	4.0±0.2	3.9±0.4	3.9±0.3
実習器具・材料は適切であったか	3.8	4.3±0.7	3.7±0.2	3.8±0.1	3.9±0.3	4.0±0.5
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8	4.4±0.7	3.8±0.3	3.9±0.1	4.1±0.3	4.1±0.5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.7	3.9±0.3	3.7±0.5	4.0±0.4	3.9±0.4	3.9±0.4
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3	3.9±0.4	3.7±0.4	4.0±0.3	4.0±0.4	3.9±0.4
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7	4.0±0.4	3.5±0.3	3.7±0.4	3.9±0.3	3.8±0.4
学生にとって適切な難易度であったか	3.7	3.8±0.3	3.6±0.4	3.8±0.3	4.0±0.3	3.8±0.3
学習意欲が刺激されたか	3.6	3.8±0.3	3.6±0.4	3.7±0.3	3.9±0.4	3.8±0.4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.8	4.2±0.4	4.0±0.3	4.1±0.2	4.1±0.5	4.1±0.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.4	4.1±0.3	3.9±0.4	4.2±0.1	4.1±0.3	4.1±0.3
総合的な評価	3.9	4.0±0.3	3.9±0.3	4.0±0.2	4.0±0.3	4.0±0.3

</

2年 (2)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	2.8

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされているか	4.3
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.7
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.5
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.5
学習意欲が刺激されたか	3.5
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.2
総合的な評価	3.9

2年 (3)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	2.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.6
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.5
授業の準備がよくなされているか	3.7
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.4
実習器具・材料は適切であったか	3.4
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.1
質問をしやすい雰囲気であったか	3.3
学生にとって適切な難易度であったか	3.4
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.5
教育に対する熱意が感じられたか	3.5
総合的な評価	3.4

2年 (4)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	3.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.3
授業の準備がよくなされているか	4.2
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.4
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	4.3
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.4
総合的な評価	4.3

2年(5)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	3.2

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.9
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.6
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.1
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.8
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.1

2年(6)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	3.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.2
授業の準備がよくなされているか	4.4
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	4.3
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	4.2
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.6
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.4

2年(7)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	3.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.9
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされているか	4.0
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.9
実習器具・材料は適切であったか	4.1
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	4.3
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	3.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.8
教育に対する熱意が感じられたか	4.0
総合的な評価	4.0

2年(8)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	2.5

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.3
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.4
授業の準備がよくなされているか	4.9
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	6.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	6.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.9
質問をしやすい雰囲気であったか	4.3
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.6
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	3.6

2年(9)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	2.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされているか	4.4
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.4
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.4
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.4
質問をしやすい雰囲気であったか	4.4
学生にとって適切な難易度であったか	3.8
学習意欲が刺激されたか	3.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.4
総合的な評価	4.3

2年(10)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	2
この授業の予習・復習を行ったか	2.9

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされているか	3.9
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.6
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.8
学習意欲が刺激されたか	3.6
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.0
教育に対する熱意が感じられたか	3.9
総合的な評価	3.8

3年(1)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3
この授業の予習・復習を行ったか	2.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.5
授業の準備がよくなされているか	4.0
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.8
実習器具・材料は適切であったか	3.6
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.7
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.7
質問をしやすい雰囲気であったか	3.3
学生にとって適切な難易度であったか	3.5
学習意欲が刺激されたか	3.5
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	3.9
総合的な評価	3.8

3年(2)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3
この授業の予習・復習を行ったか	2.6

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.6
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.8
授業の準備がよくなされているか	4.0
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.7
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.7
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	3.3
学生にとって適切な難易度であったか	3.2
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.9
教育に対する熱意が感じられたか	3.8
総合的な評価	3.8

3年(3)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3
この授業の予習・復習を行ったか	2.5

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.5
総合的な評価	4.3

3年(4)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3
この授業の予習・復習を行ったか	1.9

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.3
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.1
授業の準備がよくなされているか	3.4
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.4
実習器具・材料は適切であったか	3.4
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.4
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.9
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7
学生にとって適切な難易度であったか	3.2
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.6
教育に対する熱意が感じられたか	3.4
総合的な評価	3.5

3年(5)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3
この授業の予習・復習を行ったか	2.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.9
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.0
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.6
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.7
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	4.0
総合的な評価	4.0

3年(6)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	3
この授業の予習・復習を行ったか	2.8

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.3
授業の準備がよくなされているか	3.6
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.7
実習器具・材料は適切であったか	4.0
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.7
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	2.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	2.9
質問をしやすい雰囲気であったか	3.0
学生にとって適切な難易度であったか	3.6
学習意欲が刺激されたか	3.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.9
教育に対する熱意が感じられたか	3.7
総合的な評価	3.7

4年(1)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.9

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.2
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.9
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3
質問をしやすい雰囲気であったか	3.4
学生にとって適切な難易度であったか	3.3
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	3.7

4年(2)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	3.1

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.9
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされているか	4.0
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.6
実習器具・材料は適切であったか	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.4
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	3.1
学生にとって適切な難易度であったか	3.3
学習意欲が刺激されたか	3.4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	4.0
総合的な評価	3.7

4年(3)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされているか	3.8
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.7
実習器具・材料は適切であったか	3.6
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.7
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.5
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.5
質問をしやすい雰囲気であったか	3.2
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.8
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	3.8

4年(4)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	3.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.2
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.0
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	4.0
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	4.1

4年(5)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされているか	4.3
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.7
質問をしやすい雰囲気であったか	4.0
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	4.2

4年(6)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.7

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	4.0
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.0
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.4
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3
質問をしやすい雰囲気であったか	4.3
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.4
総合的な評価	4.3

4年(7)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.5

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされているか	4.2
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	4.1
学生にとって適切な難易度であったか	3.9
学習意欲が刺激されたか	3.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.2
総合的な評価	4.2

4年(8)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	3.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.5
授業の準備がよくなされているか	4.3
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.9
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	3.9
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.2
総合的な評価	4.1

5年(1)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.5

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.8
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.1
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.2

5年(2)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.4

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.9
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.8
授業の準備がよくなされているか	4
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	4
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.1
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.1
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	4
総合的な評価	4

5年(3)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	4
この授業の予習・復習を行ったか	2.5

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされているか	4.2
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	4.1
学生にとって適切な難易度であったか	3.9
学習意欲が刺激されたか	3.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.2
総合的な評価	4.2

5年(4)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.6

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4
授業の準備がよくなされているか	4.1
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.8
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	4
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.6
教育に対する熱意が感じられたか	4.5
総合的な評価	4.2

5年(5)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.8
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされているか	3.8
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.4
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.3
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7
学生にとって適切な難易度であったか	3.8
学習意欲が刺激されたか	3.7
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.9
教育に対する熱意が感じられたか	3.8
総合的な評価	3.7

5年(6)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.3

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされているか	4.3
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	4.3
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.4
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.1
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.4
質問をしやすい雰囲気であったか	4.5
学生にとって適切な難易度であったか	4.4
学習意欲が刺激されたか	4.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.3

5年(7)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.6

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされているか	3.8
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.5
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.5
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.5
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	3.8

5年(8)

■記入学生に関する事項

記入者の学年	5
この授業の予習・復習を行ったか	2.7

■対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.6
授業の準備がよくなされているか	3.6
教材(プリント、スライド、教科書、参考書、板書等)は適切であったか	3.6
実習器具・材料は適切であったか	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.7
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.1
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.6
質問をしやすい雰囲気であったか	3.6
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.2
教育に対する熱意が感じられたか	3.6
総合的な評価	3.4

1.2 教員による相互評価

授業公開・授業参観レポートまとめ

科目(1)

公開・参観日	2008/12/9
科目番号	(1)
授業に関する事項	
シラバスに沿った授業がなされたか	5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3
授業の準備がよくなされていたか	5
教材は適切であったか	5
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	5
質問や学生による発表の機会を与えたか	4
質問をしやすい雰囲気であったか	4
適切な難易度であったか	5
学習意欲が刺激されたか	5
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5
教育に対する熱意が感じられたか	5
上記項目以外の観点も含めた「総合的な評価」	5
コメント	非常に丁寧に分かりやすく話されていたのが参考になった。

科目 (2)

公開・参観日	2008/12/16	2008/12/16
科目番号	(2)	(2)
授業に関する事項		
シラバスに沿った授業がなされたか	4	3
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4	4
授業の準備がよくなされていたか	5	4
教材は適切であったか	4	4
実習器具・材料は適切であったか	4	4
実習は授業内容の理解に役立ったか	4	3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	5	4
質問や学生による発表の機会を与えたか	4	4
質問をしやすい雰囲気であったか	4	3
適切な難易度であったか	5	4
学習意欲が刺激されたか	4	4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5	5
教育に対する熱意が感じられたか	5	4
上記項目以外の観点も含めた「総合的な評価」	4	4
コメント	非常に分かりやすい授業を行っていた。また、学生の理解度を確認していた。	スライド(パワーポイント)が見やすく、分かりやすかった。図表や画像(写真やX-rayなど)を多用していた。授業内容が聞き取りやすかった。最後の要点のまとめはよかった。シラバスやプリントした画像等が充実していればもっと良かったと思う。

科目(3)

公開・参観日	2008/12/19	2008/12/19
科目番号	(3)	(3)
授業に関する事項		
シラバスに沿った授業がなされたか	4	5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3	4
授業の準備がよくなされていたか	4	5
教材は適切であったか	4	5
実習器具・材料は適切であったか		5
実習は授業内容の理解に役立ったか		5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4	5
質問や学生による発表の機会を与えたか	2	4
質問をしやすい雰囲気であったか	3	4
適切な難易度であったか	4	4
学習意欲が刺激されたか	3	4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5	5
教育に対する熱意が感じられたか	4	5
上記項目以外の観点も含めた「総合的な評価」	4	5
コメント	パワーポイントのスライドがきれいに作られており非常に見易かった。解説の早さ、声の大きさも適切に感じられた。講義室が暗く、暖房が効きすぎている為に眠くなり易い環境であるように感じられた。事実複数の寝ている学生が見受けられた。	非常に丁寧な説明をなされていた。要点もスライドでまとめられておりわかりやすい。学生の聞く態度が気になった。スライドと同様の画像をプリントされ、ノートをとったり、復習しやすいように工夫されていた。"キーワード"を強調して重要であることを伝えていた。

科目(4)

公開・参観日	2008/12/19	2008/12/19	2008/12/19
科目番号	(3)	(3)	(3)
授業に関する事項			
シラバスに沿った授業がなされたか	4	5	4
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4	4	5
授業の準備がよくなされていたか	5	5	5
教材は適切であったか	5	5	5
実習器具・材料は適切であったか			
実習は授業内容の理解に役立ったか			
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	5	5	5
質問や学生による発表の機会を与えたか	5	4	5
質問をしやすい雰囲気であったか	5	5	4
適切な難易度であったか	4	5	4
学習意欲が刺激されたか	4	4	4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5	5	5
教育に対する熱意が感じられたか	5	5	5
上記項目以外の観点も含めた「総合的な評価」	5	5	5
コメント	教室をひんぱんに歩きまわり個人個人に声かけをして、学生も非常にリラックスした雰囲気で質問をしやすい状態を作っていた。	・前回の講義の確認が何度もされていて理解しやすい ・スライドがとても見やすくきれい	・前回講義の内容を確認しながら良性・悪性の鑑別について強調された点。 ・用語等、ポイントを強調して説明された点。

科目(4) (続き)

公開・参観日	2008/12/22
科目番号	(4)
授業に関する事項	
シラバスに沿った授業がなされたか	5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4
授業の準備がよくなされていたか	5
教材は適切であったか	5
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	5
質問や学生による発表の機会を与えたか	5
質問をしやすい雰囲気であったか	
適切な難易度であったか	4
学習意欲が刺激されたか	5
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5
教育に対する熱意が感じられたか	5
上記項目以外の観点も含めた「総合的な評価」	5
コメント	・プレゼンのクオリティが素晴らしかったと思います。 ・高度な内容を学生が理解しやすく説明されていました。

授業公開・授業参観レポート各項目平均

	レポート数:1	レポート数:2	レポート数:5	レポート数:1	全平均
公開・参観日	2008/12/9	2008/12/16	2008/12/19	2008/12/22	
科目番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
授業に関する事項					
シラバスに沿った授業がなされたか	5	3.5 ± 0.7	4.4 ± 0.5	5	4.3 ± 0.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3	4.0 ± 0.0	4.0 ± 0.7	4	3.9 ± 0.6
授業の準備がよくなされていたか	5	4.5 ± 0.7	4.8 ± 0.4	5	4.8 ± 0.4
教材は適切であったか	5	4.0 ± 0.0	4.8 ± 0.4	5	4.7 ± 0.5
実習器具・材料は適切であったか		4.0 ± 0.0	5.0		4.3 ± 0.6
実習は授業内容の理解に役立ったか		3.5 ± 0.7	5.0		4.0 ± 1.0
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	5	4.5 ± 0.7	4.8 ± 0.4	5	4.8 ± 0.4
質問や学生による発表の機会を与えたか	4	4.0 ± 0.0	4.0 ± 1.2	5	4.1 ± 0.9
質問をしやすい雰囲気であったか	4	3.5 ± 0.7	4.2 ± 0.8		4.0 ± 0.8
適切な難易度であったか	5	4.5 ± 0.7	4.2 ± 0.4	4	4.3 ± 0.5
学習意欲が刺激されたか	5	4.0 ± 0.0	3.8 ± 0.4	5	4.1 ± 0.6
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	5	5.0 ± 0.0	5.0 ± 0.0	5	5.0 ± 0.0
教育に対する熱意が感じられたか	5	4.5 ± 0.7	4.8 ± 0.4	5	4.8 ± 0.4
上記項目以外の観点も含めた「総合的な評価」	5	4.0 ± 0.0	4.8 ± 0.4	5	4.7 ± 0.5

第2節 歯学部FD講演・研修会

平成20年度の歯学部FD講演・研修会は下記の要領で行われた。

2.1. 鹿児島大学病院歯科医師臨床研修

FD研修会 「鹿児島大学病院歯科医師臨床研修」

実施責任者：歯学部FD委員会委員長 馬嶋 秀行

日時：平成20年5月12日（月） 18:00～20:30

場所：歯学部第4講義室

内容：

（司会）篠原 直幸

（挨拶）伴 清治 副学部長 鳥居 光男 副病院長

（講演1）歯科医師臨床研修とは？：山崎 要一 教授

（講演2）平成18～19年度の臨床研修について：吉田 礼子

（講演3）平成20年度鹿児島大学病院歯科医師臨床研修について：篠原 直幸

（講演4）平成21年度鹿児島大学病院歯科医師臨床研修について：篠原 直幸

（グループ討論）「良い指導歯科医とは」：5グループに分け討論、発表

（レクチャー）「指導歯科医の役割」：吉田 礼子

（講演・実習）評価について：諏訪 素子

（挨拶）馬嶋 秀行 FD委員長

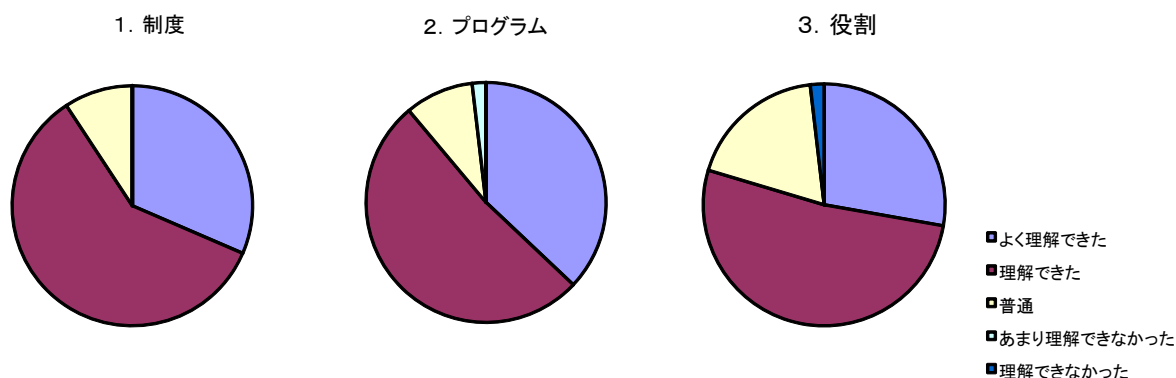
参加者：歯学部・大学病院の臨床研修医54名

FD研修会「鹿児島大学病院の歯科医師臨床研修」事後アンケート項目

1. 歯科医師臨床研修制度についてよく理解できましたか？
2. 鹿児島大学病院の歯科医師臨床研修プログラムについて理解できましたか？
3. 指導歯科医に求められる役割は理解できましたか？
4. 何かご質問・ご意見がありましたらお書きください。

<集計結果>

	よく理解できた	理解できた	普通	あまり理解できなかった	理解できなかった
1. 制度	17	32	5	0	0
2. プログラム	20	28	5	1	0
3. 役割	15	28	10	0	1



4. 質問・意見

- ・我々は教員免許を持っているわけではないので、指導医が研修医に対して効率よく教える方法についての研修プログラム（指導医向け）も必要ではないかと思います。
- ・①将来の専門についても研修医時代から研修できる体制を充実してほしい②大学院への進学についても考慮できるような体制を充実してほしい。
- ・歯科医師臨床研修においては先ず指導歯科医の側の努力、資質の向上が重要であると感じられた。さらにより具体的な改善の方法について今後検討していけたら良いと感じられた。
- ・Dグループのまとめに出てきた「研修医に夢を与えられる指導医」という文言にぐっときた。目先の事より大きな視点で指導することもまた重要だなと改めて感じました。ポートフォリオの実物が見れて「ポートフォリオ」が何なのかがよくわかり収穫だった。
- ・今回の有意義なFD研修会が是非生かされるような研修医制度になるように努力していかなければならないと思う。
- ・臨床研修をより有効に行うには実際の患者を診ることが一番近道。病院の診療システムの中的一部分に組み込み指導することがよいと思う本日の説明で「急性疾患の治療ができない」との事であったので初診時の治療を担当するように組み込むことで可能になるのではないかと思います。
- ・今回ポストイットに書いた内容は昨年私自身ができなかったこと。今年目標を挙げてみました。（研修医のための時間を作る。たくさん処置研修をする。研修医が自分で判断して処置できるようにするの3つです）今回のFDを受けてみてspiritsとか親身とか積極性を出させるなど、メンタルな面にも目を向けていかなければならないと思いました。（でもそこまで入るのは正直怖いです）総合診療部で総診の先生方が行う評価の負担の軽減というのは可能でしょうか？
- ・初診患者（配当患者以外の患者）のカルテ作成（主訴・現病歴・既往歴等）を行うのも研修になるのではないかと思います。如何でしょうか。
- ・歯学部7年生という話があったが、本日のようなFD研修会の存在自体が歯学部生と研修医をいい意味で区別する機会となるので本日不参加者に参加を促すべき
- ・研修医が大きな夢をみられる施設であってほしい。（研修医が将来のビジョンを描けるような指導を心がけていきたい）
- ・初めて参加して勉強になりました。
- ・指導歯科医のあり方について理想とする点はグループワークの中で論じられているとおりで十分に理解できます。しかし問題点は実際に指導する場では理想とは少しかけ離れた感を受けます。各指導医が身勝手にならず指導する立場の重要性を認識することが必要だと思います。
- ・研修医または研修医になる学生の希望に従ったプログラムを作ることが多く（人員数も含めて）、希望者を集める基本だと思います。
- ・歯科医師臨床研修指導医のskill upが必要になると痛感しています。
- ・症例をもっともっと増やしてあげてください。
- ・お疲れ様でした。
- ・一般的な技量を持った歯科医師を育成することは重要であるが、個々の研修医の興味を伸ばせるように指導していくことも必要と考える。
- ・いろいろ仕事が多くて大変だと思いますが、その後に大学に残すような指導をお願いします。
- ・研修については現在年に半日の参加ですが、もう少し参加する機会があってもいいのではないのでしょうか。そのことで問題点も把握、見えてくると思います。
- ・本研修会の終了時間が遅いと思います。2回に分けるなど少し配慮頂けるといいと思います。
- ・何故鹿大（母校）に研修医が残らないのか、（アンケートでは90%以上が勧められるとしているにもかかわらず）それを論議して頂きたい。
- ・グループワークの企画が良かったと思います。研修医に接するときの参考になりました。また実施してください。
- ・研修医に歯科医師としてだけでなく社会人としての基本的なマナー、あり方等を教育する必要があります。例えば一般企業の新入社員教育のセミナー等を取り入れてみるというのはいかがでしょうか。

2.2 平成20年度 CBT 問題作成 FD 研修会

歯学部共用試験委員会 CBT 作問作業部会
歯学部 FD 委員会

共用試験 CBT 問題作成を通じた FD 活動について

■ 教員の組織化

歯学教育コア・カリキュラムに準拠する CBT 用の問題作成を通じて、コア・カリキュラムが教育の場面でも生かされる様になることを目指して、本年度も継続して、学部教育委員会共用試験実施部会とともに、CBT 問題作成過程を歯学部 FD 活動の一環と捉え、教員を組織化して活動を行った。

各分野から1名の作問委員（計21名）を選出し、グループを作り、全教員を対象とする FD 講演会と各グループ作業を行いながら、問題作成とそのブラッシュアップを行った。本年度は取りまとめ役となるコアメンバーを6名とした。

■ CBT 作問活動と成果

詳細な実施経過は省略するが、本年度は約6か月間に及ぶ作業期間中、各グループでは毎週のミーティングとともに、日々、電子メールを用いた意見交換やファイルの転送を行い、スムーズに作業を進めた。FD 活動として教員を組織化する際には、明確な目標をもち、また、集中的に活動する方が、達成感が得られやすいと考えられ、今後もこのような目的指向型の短期組織化を継続、充実させたいと考えている。また、その成果として採択率は昨年に引き続き高いものとなり、一定の成果もあげたと言える。さらに、この共用試験に対応した基礎歯学特別講義を本年度も継続して設け、実質的なカリキュラム改善にもつながったといえる。

平成20年度の第1回 CBT 問題作成 FD 研修会は下記の要領で行われた。

実施責任者：歯学部FD委員会委員長 馬嶋 秀行
日 時：平成20年12月25日（木） 18:30～20:30
場 所：歯学部第3講義室
内 容：
（司会）小松澤
（挨拶）植村 正憲 馬嶋 秀行
（講演）CBT 作問のコツ：梶山 加綱
参加者：歯学部・大学病院の教員

平成20年度の第2回 CBT 問題作成 FD 研修会は下記の要領で行われた。

実施責任者：歯学部FD委員会委員長 馬嶋 秀行
日 時：平成21年1月22日（木） 18:00～20:00
場 所：歯学部第3講義室
内 容：
（司会）小松澤
（挨拶）植村 正憲 馬嶋 秀行
（講演）CBT 問題のブラッシュアップ：梶山 加綱
参加者：歯学部・大学病院の教員

平成 20 年度の第 3 回 CBT 問題作成 FD 研修会は下記の要領で行われた。

実施責任者：歯学部 F D 委員会委員長 馬嶋 秀行

各 CBT 作問グループ（A, B, C 班）で行われるブラッシュアップに参加する形式をとった。

1 回目

A 班：

日時：平成 21 年 1 月 30 日（金） 17：00～19：00

場所：歯学部 9 階会議室

参加者：CBT 作問グループ A 班と教員の参加希望者

B 班：

日時：平成 21 年 1 月 28 日（水） 17：00～19：00

場所：歯学部 9 階会議室

参加者：CBT 作問グループ B 班と教員の参加希望者

C 班：

日時：平成 21 年 2 月 4 日（木） 18：00～20：00

場所：歯学部 9 階示説室

参加者：CBT 作問グループ C 班と教員の参加希望者

2 回目

A 班：

日時：平成 21 年 3 月 2 日（月） 18：00～20：00

場所：歯学部 9 階会議室

参加者：CBT 作問グループ A 班と教員の参加希望者

B 班：

日時：平成 21 年 3 月 10 日（火） 18：00～20：00

場所：歯学部 9 階示説室

参加者：CBT 作問グループ B 班と教員の参加希望者

C 班：

日時：平成 21 年 3 月 11 日（木） 18：00～20：00

場所：歯学部 9 階会議室

参加者：CBT 作問グループ C 班と教員の参加希望者

2.3 歯内療法教育と臨床への顕微鏡導入 辻本恭久先生講演

実施責任者：歯学部FD委員会委員長 馬嶋 秀行

日時：平成20年10月7日（火） 17:30～18:30

場所：歯学部第1示説室

講師：日本大学松戸歯学部・歯内療法学講座 准教授 辻本恭久先生

鹿児島大学歯学部FD講演会

－ 歯内療法教育と 臨床への顕微鏡導入 －

講師: **辻本恭久 先生**
日本大学松戸歯学部
歯内療法学講座 准教授



日時：平成20年10月7日（火）17時30分～18時30分

場所：医歯学総合研究科棟1（歯学系）3階 第1示説室

対象：教職員

概要:

歯内療法の教育において困難を極め、学生が困惑するのは根管の中が肉眼で見えないことにあります。15年程前から歯科領域に手術用顕微鏡が導入され、われわれは根管を確認させながら教育ができるようになりました。3年前から歯科医師国家試験の出題基準ともなり、実際に出題されていますが、われわれは8年前から学部学生、大学院生、研修医に対して歯内療法の基礎教育、臨床教育に顕微鏡を用いています。今回は、われわれがどのように顕微鏡を使用した教育を行っているのか、臨床でどのように活用しているのかを解説させていただきます。また、近隣の歯科医院から依頼される症例の診査、診断、治療法を動画を交えて解説させていただきます。

ご来聴を歓迎します。

鹿児島大学病院副院長
歯学部FD委員会委員長

鳥居光男（内線6190）
馬嶋秀行（内線6270, 6272）

事後アンケート項目

※該当する数字を○で囲んでください

■今回の研修会に参加して、

＜そう思わない・・・・・・そう思う＞

- | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 組織的活動として有意義であったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 企画内容は適切であったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 時間、場所等は適切であったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 個人的に成果は得られたか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 今後もこの様な活動は必要か。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 上記の項目やその他の反省点、改善点などがあれば、自由にお書き下さい。 | | | | |

■今回の歯学部FD講演会は、一歯内療法教育と臨床への顕微鏡導入—と題する比較的新たな歯科臨床の取組についての講演でしたが、今後の歯学部FD委員会の活動についてご意見をお願いします。

＜そう思わない・・・・・・そう思う＞

- | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|
| 1. このような講演は好ましい。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------------|---|---|---|---|

＜集計結果＞

		＜そう思わない・・・・・・そう思う＞			
		1	2	3	4
		計			
1-1	組織的活動として有意義であったか	0	3	19	12
2	企画内容は適切であったか	0	2	16	16
3	時間、場所等は適切であったか	0	5	13	16
4	個人的に成果は得られたか	0	2	9	23
5	今後もこの様な活動は必要か	0	0	11	23

6 自由記述欄

- ・マクロスコープの講習会を受講したことはあったが、実際の症例をたくさん見せて頂いて非常に勉強になった
- ・従来の教育内容との違い(利点)がよくわかりました. とても勉強になりました
- ・講演だけでなく、業者などもまじえ、実際に機器に触れることができたによりよいと思われる
- ・このような企画をどんどん計画してほしいです

		＜そう思わない・・・・・・そう思う＞			
		1	2	3	4
		計			
2-1	この様な講演は好ましい	0	1	11	22

- ・今の時点では非現実的だが

2.4 岡山大学の医療系大学院高度臨床専門医養成コースの試み - 魅力ある大学院を創生するために- 窪木拓男先生講演

実施責任者：歯学部FD委員会委員長 馬嶋 秀行

日 時：平成21年2月24日(火) 18:30～19:30

場 所：歯学部第1示説室

講 師：岡山大学医歯薬学総合研究科・インプラント再生補綴学分野 教授 窪木拓男 先生

鹿児島大学歯学部FD講演会

岡山大学の医療系大学院 高度臨床専門医養成コースの試み —魅力ある大学院を創生するために—

講師: 窪木拓男 先生

岡山大学医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野 教授

日時: 平成21年2月24日(火) 18時～19時30分

場所: 医歯学総合研究科棟1(歯学系)3階 第1示説室

対象: 教職員

概要:

医療系大学院は、複数の大きなミッションを背負っている。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科では、平成19年度より、4年生の博士課程一般コースを、臨床技術や臨床決断能力を教育し、臨床を真剣に科学する「臨床専門医コース」と、優れた世界的な業績を上げうる基礎研究者を養成する「一般コース」に分割し、各々のコースの目的にしたがって大学院の実質化を進めることとなった。このうち、臨床専門医コースは、各学会の専門医制度と同調しながら、学生の臨床能力(知識、技術、態度)を博士(医学・歯学)にふさわしいレベルにまで向上させ、国民が求める医療の質を担保することが目的である。また、現在の医療の限界を明らかにし、この限界を打破する新たな方策を開拓し、その有効性を明らかにすることも更なる目的であろう。このためには、臨床疫学的な観点から臨床を科学し直す必要があるのはもちろんのこと、基礎研究部門と共同し、病態の解明や戦略的治療法の開発を進める必要がある。これらは、全世界的に進んでいる医療のグローバル化に伴って、世界的なスタンダードに則って進められる必要があり、教官・大学院生レベルでの国際交流が不可欠である。幸い、本取り組みの内容が大学院GPとして認められ、これらに費やすことができる経済的なサポートを頂いたことは本学にとって大変な幸運である。本公演では、岡山大学の取り組みの内容や苦心した点についてご紹介し、皆様のご批判を仰ぎたい。

ご来聴を歓迎します。

歯学部FD委員会委員長 馬嶋秀行(内線6270, 6272)

事後アンケート項目：

※該当する数字を○で囲んでください

■今回の研修会に参加して、

＜そう思わない・・・・・・そう思う＞

- | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 組織的活動として有意義であったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 企画内容は適切であったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 時間、場所等は適切であったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 個人的に成果は得られたか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 今後もこの様な活動は必要か。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 上記の項目やその他の反省点、改善点などがあれば、自由にお書き下さい。 | | | | |

■今回の歯学部FD講演会は、GP についての講演でしたが、今後の歯学部FD委員会の活動についてご意見をお願いします。

＜そう思わない・・・・・・そう思う＞

- | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|
| 1. このような講演は好ましい。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------------|---|---|---|---|

＜集計結果＞

＜そう思わない・・・・・・そう思う＞

		1	2	3	4	計
1-1	組織的活動として有意義であったか	1	2	15	20	38
2	企画内容は適切であったか	2	0	12	24	38
3	時間、場所等は適切であったか	1	0	19	18	38
4	個人的に成果は得られたか	1	1	15	21	38
5	今後もこの様な活動は必要か	1	1	14	22	38

6 自由記述欄

- ・とても良かった。
- ・鹿大の教育による学内FDが必要である。我々1人1人の教育をどの方向に変えるべきか。学部－臨床研修医－大学院教育をうまくリンクさせる為に、皆でどう変わって行くべきかを、スタッフ1人1人が認識出来るよう（合宿形式の）FDの開催を望みます。
- ・年度末でない方が良いと思います。
- ・若手の研究者や臨床医を養成するために短期留学制度は非常に良い制度であった。若いうちに外国の研究、臨床と触れるのは刺激的で良いことである。また、業績を上げる人への補償制度も良いのではないか。
- ・とにかく、講師の先生がとてもすぐれていたと思います。

＜そう思わない・・・・・・そう思う＞

	1	2	3	4	計
2-1 この様な講演は好ましい	1	2	6	15	24

第3節 卒業時アンケート

3.1 卒業時アンケートの実施方法と結果

卒業時アンケートは昨年と同様に歯学部卒業式会場においてアンケート用紙を配布し、20年度卒業生全員、48名を対象に実施し、30名分の回答を得た。以下の18項目について歯科医師になる立場で、「5点：極めて有効、4点：どちらかといえば有効、3点：どちらとも言えない、2点：どちらかといえば無意味、1点：全く無意味であった。」の評価を集計した。

項目(結果)：合宿オリエンテーション(3.80)、共通教育(3.34)、専門・導入系科目(3.27)、専門・基礎系科目(4.20)、専門・臨床系科目(4.43)、専門・医系科目(4.03)、専門・臨床実習(4.10)、専門・選択科目(3.93)、共用試験 CBT(3.73)、共用試験 OSCE(3.73)、卒業試験(3.87)、チューター制度(3.27)、課外活動サークル等(4.03)、学術情報基盤センター(3.97)、図書館(4.23)、学習室(1, 2 示説室等)(3.90)、学生控室(3.77)、学務事務室(3.97)。

各項目の評価においては、昨年とほぼ同じ傾向である。すなわち、直接関係する事項である専門・基礎系科目、専門・臨床系科目、専門・医系科目、専門・臨床実習、図書館に、高い評価が得られている。また、課外活動(サークル等)は精神的な支えとして重要な活動であることがわかる。昨年、4点台の評価であった、卒業試験が3点台になっており関係者としては残念である。一方、1, 2年生時の経験となる合宿オリエンテーション、共通教育、学術情報基盤センターは依然3点台の低い評価となっている。また、共用試験(CBT、OSCE)およびチューター制度など、教職員が苦勞して実施している行為に対する評価も比較的低い。臨床系科目、臨床実習に対する高評価より歯科医師としての臨床に対する意識の向上がうかがえた。

3.2 平成 20 年度卒業時アンケート集計結果

歯学部教育委員会・歯学部 FD 委員会

実施日：平成 21 年 3 月 25 日（水）
場 所：卒業式会場（第 3 講義室）
対象者：平成 20 年度卒業生全員（48 名）
回収数：30 名分

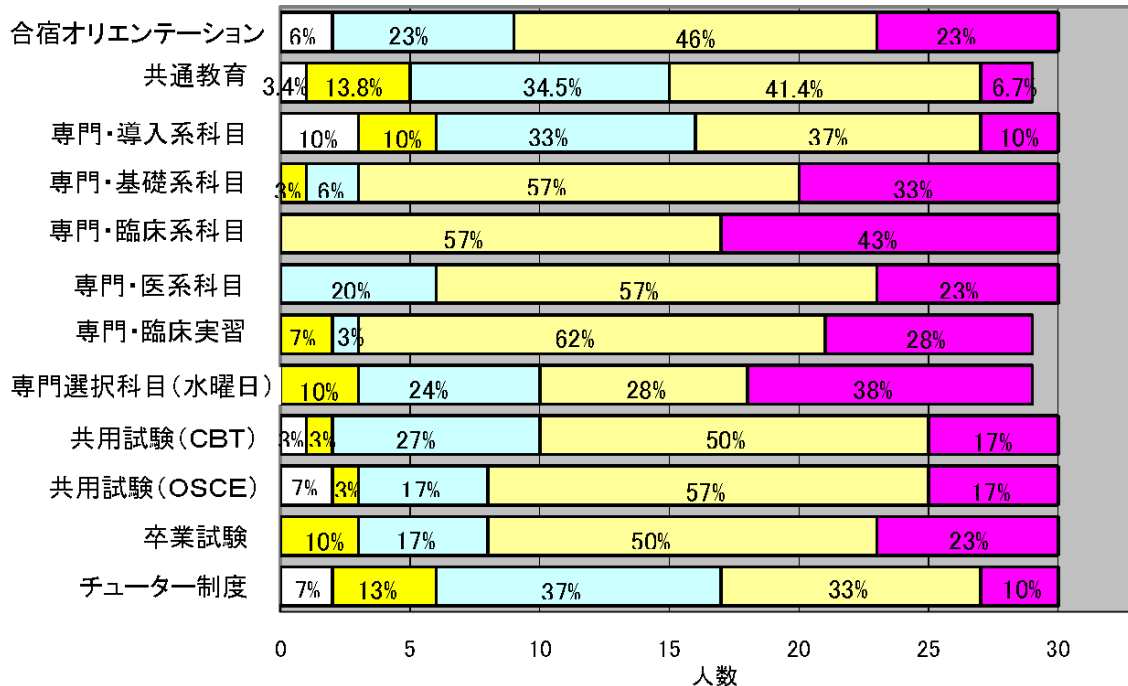
	鹿児島県	鹿児島以外の九州	左記以外
出身	5名	5名	20名
研修先	9名	6名	15名

結果

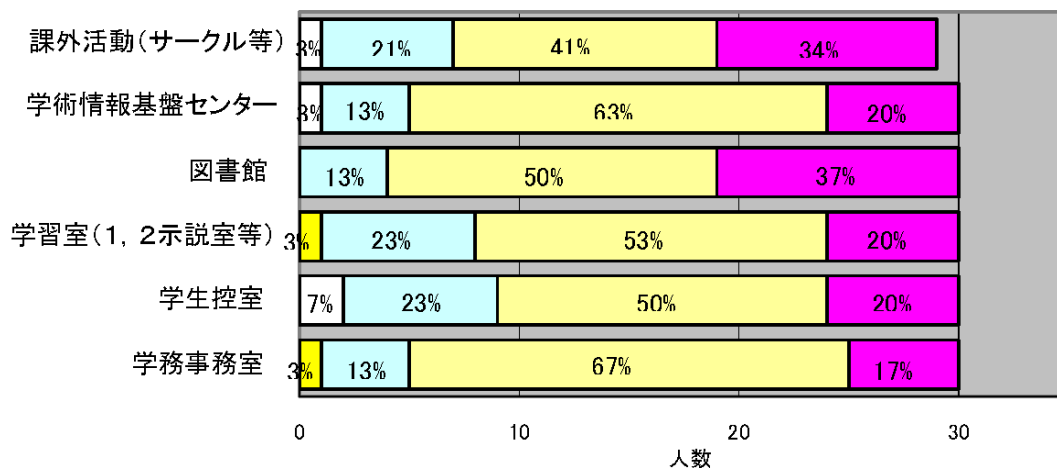
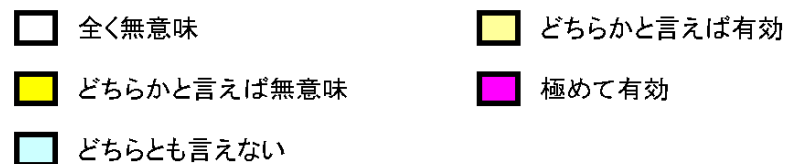
以下の 18 項目について歯科医師になる立場で、「5 点：極めて有効、4 点：どちらかといえば有効、3 点：どちらとも言えない、2 点：どちらかと言えば無意味、1 点：全く無意味であった。」の評価を集計した。

項目	平均評価点	
	2009. 3. 25	2008. 3. 25
合宿オリエンテーション	3.80	3.79
共通教育	3.34	3.59
導入系科目	3.27	3.79
基礎系科目	4.20	3.98
臨床系科目	4.43	4.23
医系科目	4.03	3.94
臨床実習	4.10	4.24
選択科目（水曜日）	3.93	4.11
共用試験（CBT）	3.73	3.95
共用試験（OSCE）	3.73	3.98
卒業試験	3.87	4.07
チューター制度	3.27	3.45
課外活動（サークル等）	4.03	4.30
学術情報基盤センター	3.97	3.73
図書館	4.23	4.31
学習室（1, 2 示説室等）	3.90	4.27
学生控室	3.77	4.16
学務事務室	3.97	3.78

教育事業/行事に関する事項



教育事業/行事に関する事項



第4節 今後の展望

これまで継続して来た活動を、より実質的な授業改善に繋がる様な活動に進化させ、また、現在進行中の歯学部カリキュラム再編とも併せて、シラバスの充実や教育スキルの向上とともに、教員による教育改善を支援する組織的な活動を一層、進展させなければならないと考えている。

(文責 歯学部 FD 委員会)

第5節 平成20年度FD活動執行状況報告書

平成20年度 執行状況報告書

別添2

部局名 歯学部

実施概要

事	項	等
1.	学生による授業評価アンケートの実施	
2.	研修会, 講演会の実施	
3.	報告書の作成	

支出予算

(単位: 千円)

事	項	等	配 分 額	備 考
当初予算			353	
学内共通経費			300	
合	計		653	

執行実績

事	項	等	執 行 額	うち学内共通 経費充当額	備 考
		運営費	250	189	※設営用物品費250千円
		旅費	266	86	東京 1泊2日@60,000×3名 ※岡山@ 52,000×1名 ※福岡@34,000×1名
		印刷費	137	25	※実績報告書@600×100部 ポスター印刷 @1,000×50枚 リーフレット@ 100×270部
合	計		653	300	

注1: 明細を備考欄に記載した場合、学内共通経費を充てた事項がわかるように※印を明記すること。行が不足する場合は適時追加してください。

注2: 経常的経費(毎年度必ず執行しなければならないもの)については、赤字で記入し、欄外の合計欄にその合計額を記載すること。

経常的経費合計額

567

注3: この調書は、部局等の経常的経費がどの程度かかっているのかを確認するための資料となります。部局等で管理している予算全てについて記載すること。